

保護者の

# 情報モラル

ハンドブック

平成25年3月 佐賀県PTA連合会



# 情報モラル育成の構造モデル(3階層モデル)

第3階層

## ネット上の様々なサイト・サービス

ネットゲーム SNS ブログ 無料掲示板  
動画サイト つぶやきサイト プロフ コミュニティサイト

### 子どもが関係する事件・トラブル

- 裏サイトでのいじめ・中傷
- チェーンメール
- SNSのわいせつ被害
- ウィルス
- 著作権法違反
- 犯罪者との接触
- 高額料金請求
- 犯罪予告
- 個人情報・プライバシーの流出
- ケータイ依存
- ゲームサイトの不正アクセス

### インターネットの安全教育

具体的な事件やトラブルからネットの特性と危険回避の方法を学ぶ

第2階層

## インターネットの特性を理解する

- ①気持ちが伝わりにくい
- ②相手の顔が見えない・他人になりすませる
- ③情報は瞬時に世界に広がり、削除不能
- ④ネットは匿名ではない、公共の場で自己責任が原則
- ⑤ネットには善と悪が混在する
- ⑥いつでも誰とでもつながる
- ⑦依存のリスクがある

第1階層

規範意識・人権意識・道徳  
基本的な生活習慣

## 第3階層

### ネット上のサービスと安全教育

情報モラル育成の3階層モデルでは、第1階層の「基本的な道徳心・規範意識」が最も重要であり、家庭教育で実践できる範囲です。第2階層の「ネットの特性」についても、技術的な範囲ではなく、事例を基にした学習で十分理解できるものです。

第3階層の、常に進化し変容するネット上のサービスをひとつひとつ追いかけて理解するのは極めて困難です。また、それによって引き起こされる事件・トラブルも多種多様なケースがあり、危険回避の方法を学ぶ専門的な安全教育が必要となります。

しかし、そうした事件・トラブルの背景にあるのは、ほとんどの場合「ネットの特性の理解不足」や「道徳心・規範意識の欠如」ですので、第1及び第2階層の教育が極めて重要であると考えられます。「ネットの特性」を十分に理解し、それを応用することで、ネット上のサービスの問題点に気づき、対応することができるようになると思われます。

大人の私たちも、刻々と変化するネット上のサービスの表面的な技術にとらわれるのではなく、どのようなサービスに対してもネットの特性を踏まえて考え、どこかに問題はないかという視点を持てるようになれば、子どもたちへ注意・指導することができるのではないでしょう

## 第2階層

### インターネットの特性を理解する

インターネットを生活の道具として安全に使うためには、その特性を理解することが大切です。このような特性は、ネット上のあらゆるサービスの問題を考える上での基礎になります。

- ① **気持ちが伝わりにくい**  
文字コミュニケーションの限界、情報は受取り方で結果が大きく変わる。
- ② **相手の顔が見えない・他人になりませる**  
ネットは自己申告で簡単に他人になりませるもの。表面的には匿名で相手の顔が見えない世界。相手が名前を言っても過信できない。
- ③ **情報は瞬時に世界に広がり、削除不能**  
ネットでは情報が瞬く間に拡散し元に戻せない。一度ネットに出た情報(データ)は、誰かがコピー・保存すれば二度と削除することはできない。
- ④ **ネットは匿名ではない、公共の場で自己責任が原則**  
ネットでは通信記録が取られており発信元は特定される。ネットの入口(ケータイ・スマホ等)は私的空間だが、ネットの中は公共の場であり自己責任が原則である。慎重な言動・表現が求められる。
- ⑤ **ネットには善と悪が混在する**  
自由に情報発信できるネットでは、善意と悪意、有益な情報と有害な情報、犯罪の罌等が混在する。選択力や判断力が必要。
- ⑥ **いつでも誰とでもつながる**  
つながることは安心で便利である反面、つながらないことへの不安、つながりを求められることへの負担などの、問題も引き起こす。
- ⑦ **依存のリスクがある**  
セルフコントロール(自制心)が働かないとネット依存症になる可能性が誰にでもある。

## 第1階層

### 情報モラルの基本は、規範意識・人権意識・道徳・基本的な生活習慣等の育成が重要

ネットはコミュニケーションの道具であり、使い方を誤ると自分や他人を傷つける危険な道具になってしまいます。それをどう使うか、全ての基礎は利用者のモラル、規範意識に委ねられています。

情報モラルの育成で最も大切なことは、基本的な規範意識・人権意識・道徳・基本的な生活習慣等を育てることです。年齢・発達段階に応じた資質や能力、生活態度を育成すること、いわば「人間づくり」の分野が大変重要になります。

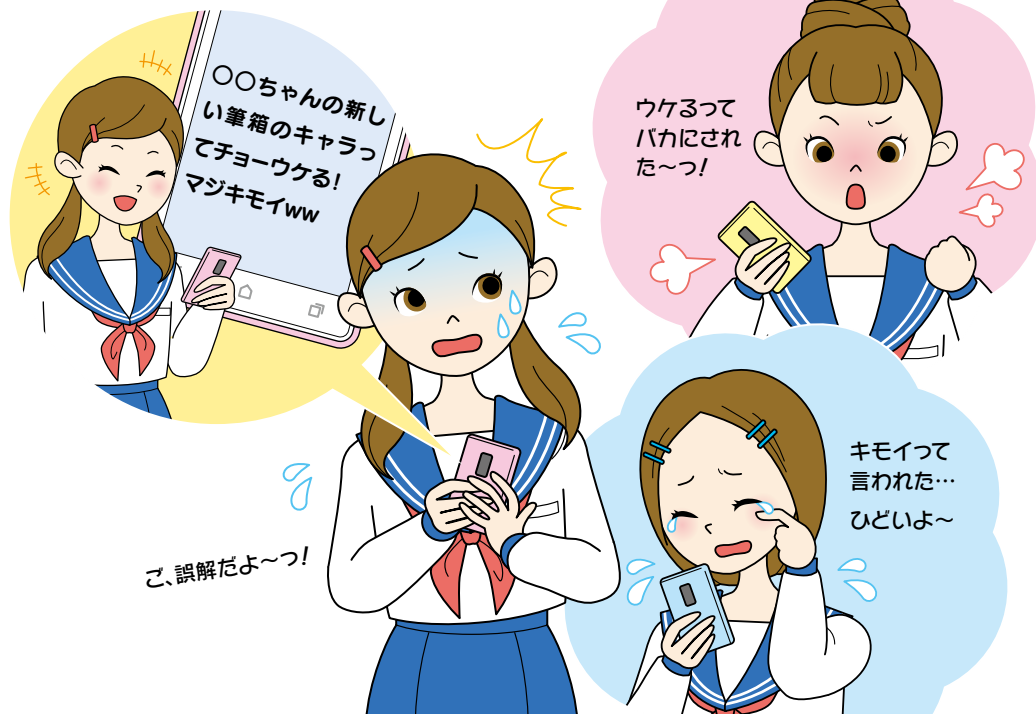
# 1

## 以心伝心…ネットを使えば…異心電信?

### 第3階層

「以心伝心」…文字や言葉を使わなくてもお互いの心と心で通じ合うこと。

ネット(文字コミュニケーション)を過信すると、本当の思いが伝わらず思わぬ誤解を生むことがあります。「異心電信」にならないように気をつけましょう。



### 第2階層

## 思いや感情が正しく伝わりにくい

- メールなど文字によるメッセージは、事実を伝えたり連絡したりする場合には大変有効な手段ですが、思いや感情を伝えるコミュニケーション方法としては不向きだと言われています。
- 「メラビアンの法則(1968)」によると、送信者から感情や態度について矛盾したメッセージの組み合わせ(写真-音声、写真-言語、音声-言語)が発せられたとき、受信者側には、話の内容などの言語情報が7%、音調などの聴覚情報が38%、表情などの視覚情報が55%の割合で影響を及ぼすという実験から導き出された。
- メールやSNS等ネット上のサービスのほとんどは、文字によるコミュニケーションです。それには限界があるということを理解しておきましょう。

### 第1階層

自分が発信した情報がどのように受け取られるかは、相手の受け取り方で決まります。メッセージ等情報を発信することは、相手を大切に思いやる心が基本であることを理解させ、人を傷つける言葉や態度等悪意を表すメッセージを発信することについて考えさせる指導が必要です。

# 匿名の皮を被ったネットの狼

# 2

「羊の皮を被った狼」…偽善者に騙されないよう注意しなさいという教え。

ネットでは「匿名」という皮を被って、他人になりすますことができます。  
ネット上の相手を過信してはいけません。



第3階層

## 相手の顔が見えない・他人になりすませる

- SNSとは…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称で、同じ趣味・嗜好を持つ人のつながりをサポートしたり、「友達の友達」といった直接関係のない他人とのつながりを通じて人間関係を構築する場を提供するサービス。
- SNSやネットゲームは、自分と他者とのコミュニケーションが基本となっており、知らない人とのコミュニケーションや対戦は避けられません。
- ネット上では相手の顔が見えないので、相手を過信することはとても危険です。
- ネット上で知り合った人とメールで交信しているうちに、やさしい言葉や甘い言葉をささやかれ、実際に会った時に被害にあうというケースが中学生や高校生に増加しています。ネット上で相手に個人情報等を教えてしまい、不当な要求や脅迫といった凶悪な事件に巻き込まれるケースも発生しています。

第2階層

人を信じることは大切なことです。しかし、ネット上ではなかなか相手の顔や、本当の情報がかめません。ネット上で相手を正しく確認することなく個人情報を発信したり、実際に会ったりすることは危険な行為であることを指導することが必要です。

第1階層

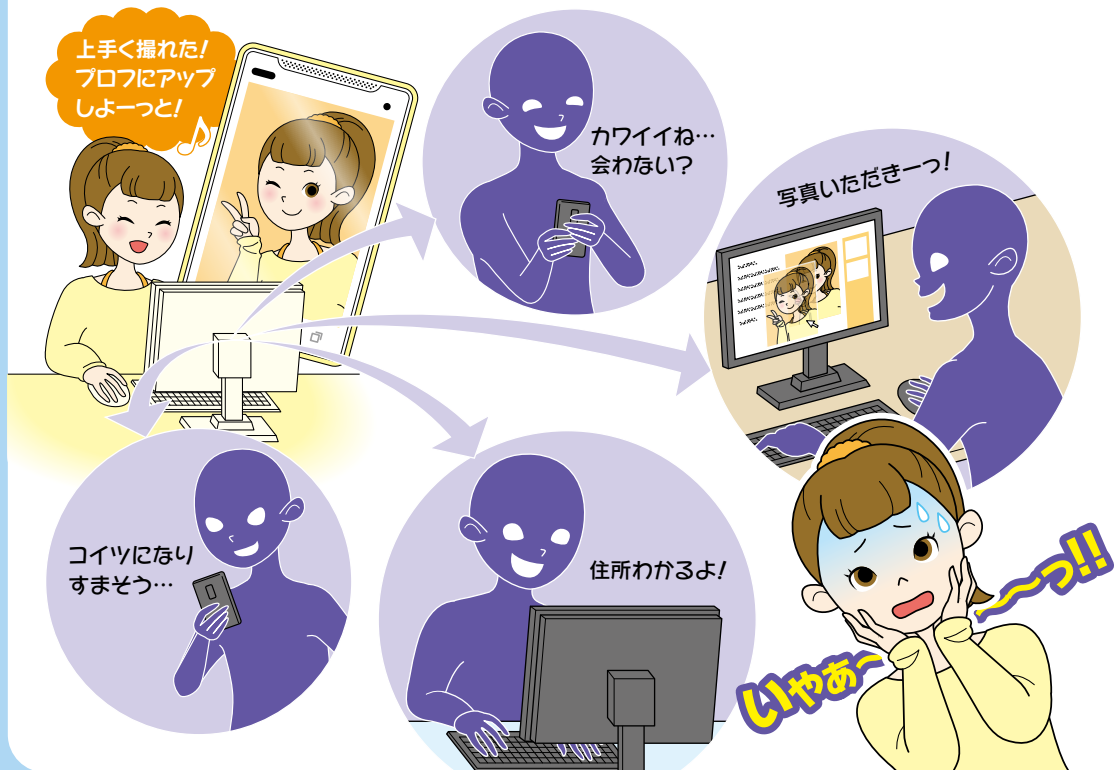
# 3

## 悪事千里を走る・ネットの噂は75日じゃない

### 第3階層

「悪事千里を走る」…悪い行ないや悪い評判はたちまち世間に知れ渡るとのこと。

ネット上で発信された情報は瞬時に世界中に広がります。ネットに流れた情報は永遠に消えずあらゆる場所に記録されます。「人の噂も75日」では済まないのです。



### 第2階層

## 情報は瞬時に世界に広がり、削除不能

- ネットの書き込みは、数時間から数日後にはGoogleやYahoo!で検索できるようになります。知らない誰かが、あなたの書き込みを見つけることができるということです。
- ケータイやスマホ、パソコンの画面に向かうときは一人かもしれませんが、画面の向こう側（ネット上）では自分が想像している以上にたくさんの人が見ているという認識を持つべきです。
- 公開範囲を限定しても、友人が保存したり、別のサイトに転載したりするなど、一度発信した情報を全て削除することは困難です。自分のホームページを削除したり、書き込み（掲示板）の発言を削除しても、検索サイトのキャッシュ（一時保存）などに残ったデータは簡単に消えるものではなく、いつまでも検索されて見られてしまうという事実を知るべきです。

### 第1階層

ネット上では、一度発信したメッセージや情報は瞬時に広がり、完全に削除することは非常に困難であるため、プライバシーや個人情報を流すことは大きなリスクが伴うという事実を理解させる必要があります。

このようなことから、ネット上の安全教育が必要不可欠となっています。

「頭隠して尻隠さず」…一部だけを隠して、すべてを隠したつもりでいる愚かさをあざけることば。ネット上では名前を出さないで「匿名」のように見えますが、実はあらゆるところにログ(通信記録)が残る発信者は特定されます。まさに、「名前隠してログ隠せず」なのです。

第3階層



## ネットは匿名ではない、公共の場で自己責任が原則

第2階層

- ネットは誰でも自由に自分の意見や考えを多くの人に主張できるすばらしいメディアであり、発信した情報は世界中に公開され、瞬く間に広がります。
- 無責任なメッセージを発信をする人も多く、気軽に書き込んだ他人への誹謗中傷や悪口がネット上で広がり、他人を傷つけ追い詰めてしまう事例が数多くあることも忘れてはいけません。
- 発信する情報は不特定多数の人の目にとまる可能性があることを強く意識することが大切です。
- ネット上での言動は常にログ(通信記録)によって追跡され、自己責任(道義的責任、刑事責任、民事責任)が生じるということも理解しておく必要があります。ネット上もテレビやラジオと同じ公共の場なのです。

子どもたちの多くは、ネット世界は匿名で発言できていると思っていますが、実は匿名ではありません。匿名性があっても、ネットでは通信記録(ログ:コンピュータの利用状況やデータ通信の記録)が取られており、発信元は特定されます。

ネット上は公共の場であり、望ましいメッセージの発信をすること。

年齢に応じた規範意識を育て、望ましい利用の仕方をご指導ください。

第1階層

# 5 ワンクリック先は…闇?

## 第3階層

「一寸先は闇」…ほんの少し先のことも全く予知できないことのたとえ。

ネットへのアクセスは、送信ボタンを押すだけ、ワンクリックするだけですが、そこから先は犯罪のワナかもしれません。まさに「一寸先は闇」、ワンクリック先は闇かもしれないのです。



## 第2階層

### ネットには善と悪が混在する

- 自由に情報発信できるインターネットでは、善意と悪意、有益な情報と有害な情報が混在します。クリックをするということは、情報を発信したり選択したりすることです。クリックする前に、正しい選択かどうか考えたり、結果を予測したりする情報判断力が必要不可欠となります。
- 判断力が未熟だと次のようなトラブルになることがあります。
  - ◆チェーンメール…「〇日以内に〇人に転送しないとあなたに不幸なことが起こる」といった事実無根のメール。
  - ◆迷惑メール…パソコンや携帯電話のメールアドレスに、アダルトサイトや出会い系サイト等の広告メールが見知らぬ業者から送られてくるもの。
  - ◆架空請求…アダルトサイト等の利用料金が未払いと書いてあり、数日以内に払わない場合は「自宅に出向いて回収する」など脅迫される場合もある。
  - ◆ワンクリック請求…広告をクリックした場合に、アダルトサイト等と思われるページが表示され、「入り口」等の表示をクリックすると自動的に入会させられ、高額な料金を請求される。

## 第1階層

社会はお互いの信頼が基本ですが、残念ながら世の中には善と悪が混在するのが現実です。ネットを利用する場合は、自制心や情報判断力が必要です。

日常生活においても自制心や情報判断力を育成し、子どもたちが安全で望ましいネット利用ができるようご家庭でもご指導ください。

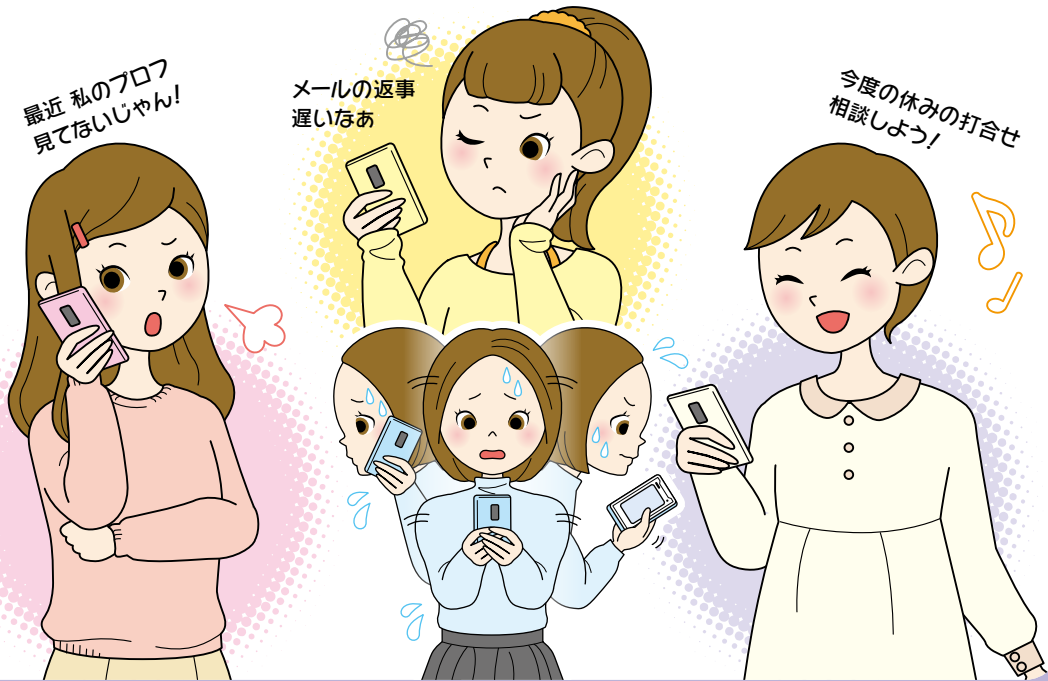
※トラブルにあった時の相談窓口は最後のページを参考にしてください。



# 子どもはネットで群れたがる…SNSは友を呼ぶ

「とかくメダカは群れたがる」…徒党を組まないと何も出来ない人間のたとえ。

思春期は友だち関係を求め合う時期。現代の子どもは、ネットやSNSでコミュニケーションを求め、ネットで群れたがります。SNSが友を呼ぶ時代です。



第3階層

## いつでも誰とでもつながる

- ゲームサイトや意見交流サイトなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、送信と返信が瞬時に成立し、子どもたちの欲求を簡単に満たしてくれます。このため、これらのサービスにはまりやすい傾向が発生しています。
- ネット上のつながりは手軽な分、希薄なものに陥りがちです。過度に利用してしまうと正常な人間関係に支障が生じる危険があります。
- ケータイ・スマホ・タブレット等は、いつでも、どこでも、だれとでも、簡単な操作でつながる優れた情報端末(コミュニケーション・ツール)ですが、これを有効に使うことが大切です。子どもの自主性や判断力は未熟ですので、全てを子どもに任せることは難しいでしょう。

第2階層

日常生活の中で基本的な生活習慣や、自制心・情報判断力を育成しながら、子どもの身の丈に合った情報端末の有効利用方法について、親子で話し合ってください。

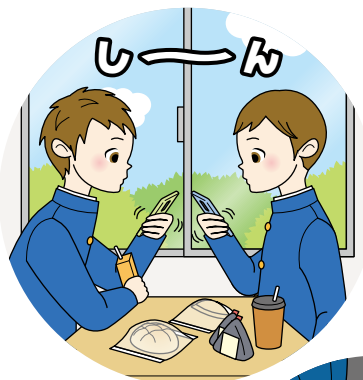
第1階層

# 7

## やめられない…とまらない…ネット・ケータイ

### 第3階層

子どもの周りにはネットの利用環境が増加しています。ネットの中には子どもの好奇心や興味を満たすものが溢れ甘い誘惑に満ちています。やめられない…とまらない…というネット依存的な子どもが増加しています。



### 第2階層

## 依存のリスクがある

- ファミレス等で、同じテーブルにしながら会話がなくて、子どもや親はそれぞれケータイやスマホ、タブレットを操作している家族が増加しています。
- ケータイやスマホ、タブレット等の普及により、いつでも、どこでも、だれとでも通信できる環境が整い便利になった反面、ネット依存が増加しています。
- ネット依存は、ギャンブルや買い物依存と同じように、行為そのものへの依存のため生活に支障が出ている状態を指します。
- 子どもたちにとってインターネットは、いわゆる万能感や全能感をあたえてくれるツールです。ゲームや増々多様化するSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の中でのみ自分の欲求を満たしたり、癒しを求める傾向が強くなると、現実の生活に適應できなくなり、ネット依存という状態に陥ります。

### 第1階層

学校や家庭での日常生活の中で、自分の欲望をコントロールする「自制心」や、基本的な生活習慣を育成することが大切です。ケータイやスマホ、パソコンやタブレットなどの望ましい利用について、親子で話し合ってください。親も子ども情報化社会を賢く安全に生活することが大切です。10ページに掲載の「インターネット依存自己評価(青少年用)」でお子さんのネット依存度を確かめることをおすすめします。

# インターネット依存自己評価スケール(青少年用)K-スケール

以下の15の各質問について、最もあてはまる回答をチェックしてください。採点方法に従って総得点と要因別得点を計算し、依存レベルの判定の指示に従って、自身の依存レベルの評価とその対策を確認してください。

	質問項目	全くあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	非常にあてはまる
1	インターネットの使用で、学校の成績や業務実績が落ちた。				
2	インターネットをしている間は、よりいきいきしてくる。				
3	インターネットができないと、どんなことが起きているのか気になってほかのことができない。				
4	“やめなくては”と思いながら、いつもインターネットを続けてしまう。				
5	インターネットをしているために疲れて授業や業務時間に寝る。				
6	インターネットをしていて、計画したことがまともにできなかったことがある。				
7	インターネットをすると気分がよくなり、すぐに興奮する。				
8	インターネットをしているとき、思い通りにならないとイライラしてくる。				
9	インターネットの使用時間をみずから調節することができる。				
10	疲れるくらいインターネットをすることはない。				
11	インターネットができないとそわそわと落ち着かなくなり焦ってくる。				
12	一度インターネットを始めると、最初に心に決めたよりも長時間インターネットをしてしまう。				
13	インターネットをしたとしても、計画したことはきちんとおこなう。				
14	インターネットができなくても、不安ではない。				
15	インターネットの使用を減らさなければならぬといつも考えている。				

## 判定

### I. 採点方法

- 1) 全くあてはまらない: 1点、あてはまらない: 2点、あてはまる: 3点、非常にあてはまる: 4点
- 2) ただし、項目番号9番、10番、13番、14番は、次のように逆に採点する。  
全くあてはまらない: 4点、あてはまらない: 3点、あてはまる: 2点、非常にあてはまる: 1点

### II. 総得点および要因別得点

1. 総得点 1) ①1~15番 合計  点
2. 要因別得点 1) ②A要因(1, 5, 6, 10, 13番) 合計  点
- 2) ③B要因(3, 8, 11, 14番) 合計  点
- 3) ④C要因(4, 9, 12, 15番) 合計  点

※要因別得点には、質問2及び7は含まれません。

開発者: 韓国情報化振興院(National Information Society Agency)より許可を得て翻訳・使用  
翻訳者: 久里浜医療センターTIAR  
バックトランスレーションによる妥当性確認: Sungwon Roh博士(ソウル国立病院精神保健研究部長)  
※久里浜医療センターの許可を得て掲載しています。

## 依存レベルの判定と対策

### 1. 高リスク使用者 総得点が以下に該当するか、または、3つの要因別得点のすべてが以下に該当する場合

中学生	総得点	44点以上
	要因別得点	【A要因】15点以上 【B要因】13点以上 【C要因】14点以上
小学生	総得点	42点以上
	要因別得点	【A要因】14点以上 【B要因】13点以上 【C要因】13点以上

#### 評価と対策

あなたはインターネット依存傾向が非常に高いです。専門医療機関などにご相談ください。

### 2. 潜在的リスク使用者 総得点または要因別得点のいずれかが以下に該当する場合

中学生	総得点	41点~43点
	要因別得点	【A要因】14点以上 【B要因】12点以上 【C要因】12点以上
小学生	総得点	39点~41点
	要因別得点	【A要因】13点以上 【B要因】12点以上 【C要因】12点以上

#### 評価と対策

インターネット依存に対する注意が必要です。インターネット依存に陥らないよう節度を持って使用してください。

### 3. 一般使用者 総得点および要因別得点のすべてが以下に該当する場合

中学生	総得点	40点以下
	要因別得点	【A要因】13点以下 【B要因】11点以下 【C要因】11点以下
小学生	総得点	38点以下
	要因別得点	【A要因】12点以下 【B要因】11点以下 【C要因】11点以下

#### 評価と対策

インターネットが健全に使用できてます。普段から自己点検を続けてください。

【経済産業省】インターネット安全教室JNSA

<http://www.net-anzen.go.jp/>

【佐賀県】小学校指導資料「コンピュータを利用する際のルールやマナー」

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/sidousiryoku.html>

インターネットトラブル(警察庁)

<http://www.npa.go.jp/nettrouble/>

【インターネット協会】インターネットルール&マナー検定

<http://rm.iajapan.org/>

ネット社会の歩き方

<http://www.cec.or.jp/net-walk/>

インターネット・ホットラインセンター

<http://www.internethotline.jp/>

ねちずん村

<http://www.netizenv.org/>

合同会社ロジカルキット

<http://www.logicalkit.com/>

佐賀県警察本部

- ヤングテレホン相談 ☎0120-297-867
- ネットトラブル相談 <http://www.police.pref.saga.jp/>

佐賀県消費生活センター

TEL 0952-24-0999

佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階

ITサポートさが kodomo2.0

<http://www.it-saga.jp>

ホットネットライン(テレホン相談) ☎0120-797-100

午前9:00~午後6:00(土・日・祝日も可)

(メール相談) [help@it-saga.net](mailto:help@it-saga.net)

- このハンドブックは、佐賀県PTA連合会及びITサポートさかのホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。

---

●編集	池之上義宏	佐賀県中学校生徒指導連盟会長 鳥栖市立田代中学校校長
	角 和博	NPO法人 ITサポートさが理事長 佐賀大学文化教育学部教授
	藤井 信吾	佐賀県警察本部生活安全部生活環境課 サイバー犯罪対策室課長補佐

---

- 発行 佐賀県PTA連合会  
〒840-0047 佐賀県佐賀市与賀町1番24号  
TEL 0952-26-2276 FAX 0952-26-2265  
会長 西岡 豊
-